



第25回 日韓海峡沿岸県市道交流知事会議

佐賀県発表資料

【共通テーマ】再生可能エネルギー関連事業及び地域発展



これまでの主な取組と実績（太陽光発電）

設置費の補助などにより、

住宅用世帯当たり普及率：**14年連続日本一**（2016年3月末現在で12.6%）






これまでの主な取組と実績（小水力発電）

治水・利水目的の県営「中木庭ダム（鹿島市）」からの
放流水を活かした民間事業者による発電事業開始（九州初）

中小零細企業でも参入可能な新たな事業モデルも検討中



民間事業者が中木庭ダムに
設置した発電機



これまでの主な取組と実績（海洋エネルギー）

佐賀大学海洋エネルギー研究センター
海洋エネルギーの国際的研究拠点



国の海洋再生可能エネルギー
「実証フィールド」に選定



佐賀県は、産学官金でスクラムを組み、海洋エネルギー産業を目指します。



漁業者や地元企業等との協働による産業化の
推進体制を組織

👋 これまでの主な取組と実績（電気自動車）

電気自動車世帯当たり普及率(H27年度末): **全国3位**

1位: 岐阜県

2位: 福島県

急速充電器は県内全域で**約20km間隔**(国の目標は30km間隔)



九州佐賀国際空港急速充電設備(佐賀市)

👉 これまでの主な取組と実績（水素エネルギー）

定置式としては国内最南端の**水素ステーションを整備**（2016.3開所）

再生可能エネルギー余剰電力の**水素による貯蔵・利用モデル**を研究中
（トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、川崎重工業、九州電力等が協力）



佐賀水素ステーション(佐賀市)

👉 世界に誇れる再生可能エネルギー先進県を目指して

今後の課題

近い将来、九州では、太陽光発電等の導入に対して制約条件が課せられる見込み。



必要な対応策

不安定な再生可能エネルギーの調整手段の構築

天候の影響が少ない再生可能エネルギーの開発

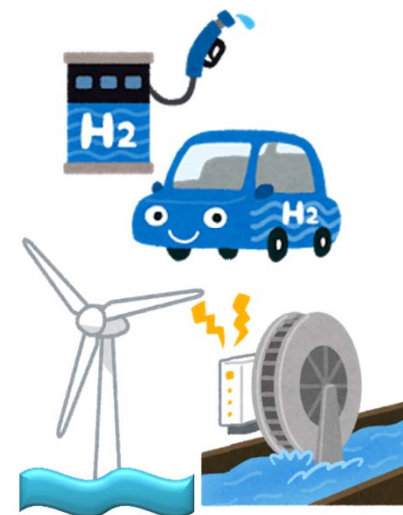
電気以外の利用法の開発・導入促進

具体的な取組

- 水の電気分解を用いた水素による再生可能エネルギーの貯蔵・利用モデル構築

- 海洋エネルギーの実用化に向けた取組
- 小水力発電事業モデル構築

- 地中熱等の空調利用
- 石油燃料の代替モデル構築（水素やバイオマスなど）



第25回 日韓海峡沿岸県市道交流知事会議
佐賀県発表資料

世界に誇れる佐賀づくり

佐賀県知事 山口 祥義

よしのり

